



## 自衛隊による防災フェア in モリパーク アウトドアヴィレッジ



自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は6月8日、昭島市にあるアウトドアに特化した複合商業施設「モリパーク アウトドアヴィレッジ」の屋内広場において、自衛隊による防災フェアを東部方面航空野整備隊（立川）と、第1施設大隊（朝霞）から装備品展示の支援を受け、自衛官募集相談員とともに広報活動を行った。

当日は、梅雨入り前の爽やかな晴天で、絶好のイベント日和となった。装備品展示では、OH16（観測ヘリコプター）、渡河ポット、偵察用バイクが会場を賑やかさせた。イベント開始は10時からだったが、装備品を卸下する様子をカメラに収めたいと自衛隊ファンの方々が早々に会場付近に集まっていた。

ヘリ撮影会のチケット配布は、あつという間に制限人数に達し、ヘルメットを被って機体に乗りにこむ来場者の姿は頼もしくもあった。渡河ポットでは、救命胴衣を着用して、自分の背丈よりも高い欄を一生懸命に握る子供達の姿が微笑ましかった。また、災害派遣活動パネルを熱心に見入る子供の姿も印象的だった。

立川出張所は、東京地本のマスコットキャラクター「トウチ君」からの挑戦状と題して、「会場内のQRコードを読み取って、出てくる装備品を見つけよう！」という企画を実施し、QRコードを見つけて走り出す子やスマホに表示された装備品に目を輝かせながら画面に見入る子、また大人も満足げな様子で参加する姿があった。

立川出張所は、今後も組織的募集として、部隊、各団体と連携しながら自衛隊の活動に対する理解と関心を高めていくとしている。



## 海上幕僚監部を研修

東京地方協力本部五反田募集案内所（所長 野澤2陸尉）は6月13日、海上幕僚監部人事教育部人事計画課募集推進室（室長 目賀田1海佐）の協力を得て、海上自衛隊に関心を寄せる募集対象者に対して海上幕僚監部研修を実施した。

当日は、海上幕僚監部勤務者の案内のもと、30組に分かれて現役海上自衛官と座談会を実施。海上自衛隊での勤務や生活環境等の具体的な話から休日過ごし方までざっくばらんに和やかな雰囲気での終始懇談。続いて真殿海上幕僚副長との懇談では、当初は硬い面持ちの参加者であったが、副長の親しみやすい人柄に接し少しずつ緊張もほぐれ、防衛大学校に入ったきっかけや海上自衛隊を選んだ理由、自身のキャリア等実体験に基づく話を熱心に聞き入っていた。また、懇談後には海幕内の展示パネルの説明を受け、海上自衛隊の様々な活動を興味津々に聞く等充実した内容の研修であった。

参加者からは、「進路を考えるうえで貴重な機会であった。」「現役隊員との懇談で、入隊後のイメージが湧いた。」「ハイクラスの方と話すことができ、海上自衛隊に対する知見をより一層深めることができた。」などの感想が聞かれた。

五反田募集案内所は、今後も対象者に寄り添った募集・広報活動を上級司令部等と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務に繋げていくとしている。

